



# しんとつかわ 議会だより

2011. 4 No. 45

## CONTENTS

|  |   |
|--|---|
| ◇第1回定例会                                    | 2 |
| ◇予算審査質疑                                    | 4 |
| ◇一般質問                                      | 6 |
| 町政4年間の評価は／子ども手当をどう考えるか<br>英語教育の充実を／燃料高騰対策は |   |
| ◇常任委員会報告                                   | 8 |
| ◇議員表彰・編集後記                                 | 8 |

### 新十津川中学校第41回卒業証書授与式



# 第1回定例会

## 平成23年度予算を可決（総額57億1,959万円） 骨格予算でスタート

平成23年第1回定例会は3月8日開会し、一般質問に2議員が登壇、平成22年度補正予算4件、条例の制定及び条例の一部改正8件、平成23年度一般会計予算並びに4特別会計予算、規約の変更2件、土地改良事業の施行1件、事務の委託2件、工事請負契約の締結2件、人事案件2件、意見書1件等を審議、原案を可決承認し3月17日に終了した。

### 条例の制定

- ▼新十津川町住民生活に光をそそぐ交付金活用基金条例の制定
- ・国から交付される交付金を活用し、児童館における発達障害児への活動支援及び相談体制並びに図書館運営の充実を図るため。

### 条例の改正

- ▼新十津川町議会議員の定数を定める条例の一部改正
- ・町議会全員協議会の協議結果に基づき、定数12名を11名と改める。この条例の施行の日以後初めてその期日を告示される一般選挙から実施する。

- ▼新十津川町共同賃貸住宅建設促進条例の一部改正
- ・助成制度を継続するため、対象期限を平成23年3月31日を平成26年3月31日に改める。

- ▼新十津川町水防団条例の一部改正
- ・袋地沼及び下徳富救急排水場の建物が完成し、災害時におけるポンプ機材の搬入作業がなくなるため、団員の定数を69人から60人に変更する。

- ▼新十津川町英語指導助手の設置に関する条例の一部改正
- ・語学指導を行う外国青年招致事業の再任用制度が施行されたため、従来3年を任期としていたが、任用した日から5年を超えない範囲内で任期を更新することに改める。

- ▼新十津川町職員の給与に関する条例の一部改正
- ・病気休暇に伴う職員の給与の半減について、人事院規則が改正されたことにより、結核性疾患の特例がはずされた。

- ▼新十津川町道路路占用料徴収条例の一部改正
- ・土地の地価等の下落により国の占用料が改訂になったため国に準じて改訂する。

- ▼新十津川町境界に位置する地区の土地改良（浦白第1地区維持管理）事業を実施するもの。本町の受益面積16畝、受益者3戸

現行の道路占用料から概ね40%減額となる。

- ▼新十津川町都市公園の設置及び管理に関する条例の一部改正
- ・青葉区行政区内にある「文京児童公園」の名称を「青葉児童公園」と改める。

### 土地改良事業の施行

- ・浦白町との境界に位置する地区の土地改良（浦白第1地区維持管理）事業を実施するもの。本町の受益面積16畝、受益者3戸

### 事務の委託

- ▼浦白第1揚水機場に関する事務の委託について
- ・本町の一部を受益とする浦白第1揚水機場に関する事務を委託する。

- ▼一般旅券の発給申請受領及び交付に関する事務の委託について

- ・パスポートの発給申請受領及び交付に関する事務を滝川市に委託をするもの。
- ・今回の委託により本年7月1日より滝川市役所市民課でパスポートの申請及び交付が出来るようになる。

## 補正予算

- ・北海道市町村備荒資金組合納付金  
5,000万円

### 〔災害発生時用の積立〕

#### ▼民生費

- ・共生型施設整備事業

△5,189万1千円

- ・旧花月小学校改修工事入札残に伴う交付金の減額

- ・公営住宅建設事業

△874万8千円

### 〔設計・建設工事執行残〕

#### ▼教育費

- ・図書館外壁改修事業

1,966万7千円

- ・国からの交付金に伴う外壁改修

#### ▼公債費

- ・地方債償還元金

3億1,098万7千円

- ・臨時財政対策債繰上償還

#### ▼職員費

- ・職員人件費

△412万2千円

- ・職員手当等の減額

- ・農林水産業費
- ・中山間地域等直接支払交付事業

△400万9千円

- ・対象地確定のための実績

#### ▼土木費

- ・冬期除排雪事業

△1,034万2千円

- ・少雪による実績精査

- ・除雪機械購入事業

△1,312万5千円

- ・入札執行残

- 〔後期高齢者医療特別会計〕

歳入歳出それぞれ199万8千円を追加し、総額を8,293万3千円とした。おもな補正は次のとおり。

- ・後期高齢者医療広域連合負担金  
229万8千円

- 〔被保険者増加による増額〕

履行期限  
平成23年11月30日

### 〔一般会計〕

定例会最終日の3月17日に追加議案として上程された平成22年度一般会計補正予算(第10号)は、歳入歳出それぞれ100万円を追加し、総額をそれぞれ61億9,081万5千円とした。補正の内容は、3月11日に発生した東北地方を中心とする大震災への義援金として100万円を盛り込んだ。

## 人事案件

- ・履行期限

平成23年11月30日

- ・契約金額

1億1,718万円

- ・新十津川小学校耐震補強・大規模改修機械設備工事

- ・施工業者 池田・日出・空知特定建設工事共同企業体

- ・契約金額

1億1,718万円

- ・人権擁護委員候補者の推薦
- ・宮野 康子氏 (青葉区)
- ・出田 輝義氏 (青葉区)

## 意見書採択

◎地域医療存続のための医師確保に関する意見書

《提出先》

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、総務大臣

## 工事請負契約

- ・新十津川小学校耐震補強・大規模改修建築主体工事

- ・施工業者 久保田・泰進特定建設工事共同企業体

622万2千円

〔医療費増加に伴う追加負担金〕

### 〔国民健康保険特別会計〕

歳入歳出それぞれ624万円を追加し、総額を3億1,488万6千円とした。主な補正内容は次のとおり。

- ・国民健康保険事業広域連合負担金

622万2千円

〔事業不採択による減額〕

△3,558万2千円

〔国からの交付金を積立〕

360万円

〔総務費〕

住民生活に光をそそぐ交付金活用基金積立金

360万円

〔森林総合研究所分収造林事業〕

△3,558万2千円

〔事業不採択による減額〕

△3,558万2千円

〔事業不採択による減額〕

△3,558万2千円

〔事業不採択による減額〕

△3,558万2千円

〔事業不採択による減額〕

△3,558万2千円

〔事業不採択による減額〕

△3,558万2千円

〔事業不採択による減額〕

△3,558万2千円

# 平成23年度一般会計予算・特別会計予算を審査 =第1回定例会本会議=

平成23年度一般会計予算および4特別会計予算は、第1回定例会の本会議において議員全員により、3月15日から17日まで3日間にわたり審査いたしました。審査における主な質疑は次のとおりです。

## 【議会費】

(質問) 議員年金が廃止になっても町費負担は続くのか

(答) 受給されている方の年金がゼロになるまで町の負担は続く。

(質問) 議会改革に関する内容と予算が計上されていないが。

(答) 今期中も議論をした。改選期後に再度議論し、改革内容を精査し経費がかかるのであれば補正予算で対応する。

## 【総務費】

(質問) 公共施設の大規模改修のために基金を積み立てているが主な内容を伺いたい。

(答) 公共施設整備基金の原資は平成23年度末で5億1千2百万円になる予定。平成24年度までに5億9千7百万円の経費がかかると試算している。主なものとして、ゆめりあや公営住宅、図書館などの屋根や外壁塗装など12施設を予定している。

(質問) 数年前から職員研修に力を入れているが、全体的な成果はどうか。

(答) 知的能力を発揮できる

ように研修に参加している。現在、給与査定の中で人事評価を行っていているが、2〜3年前と比べ執務評価や能力評価、業績評価も上がっている。

(質問) 新年度に北海道庁から職員が赴任するが、どのような仕事をするのか。

(答) 北海道庁との交流事業の一環で行うもの。今のところ農産物のブランド化や農業振興公社の立ち上げのプロジェクトに携わるよう予定している。

(質問) 公用車の管理経費を削減。台数を減らす方法はいいのか。

(答) 平成16年度から行財政改革の一環で台数を減らしている。また、車両更新時には軽自動車やエコカーを購入するなど燃料費の節減にも努力している。

(質問) 災害対策本部でもあたる役場庁舎の耐震調査や地震対策は。

(答) 公共施設の耐震対策は財政的なものもあり学校を優先的に考え、役場庁舎の優先順位は低かった。今後、年度途中の補正も視野に入れ検討する。

(質問) 第5次新十津川町総

合計画策定までのスケジュールと町民のかかわり方について。

(答) 9月までには素案を作成し12月定例会に本計画を上程したい。現在のところワークショップ形式は考えていない。町長の考えをもとに総合行政審議会の委員で協議し進めたい。

(質問) 地域公共交通(乗り合いタクシーとして)では大和や花月方面が計画に入っていないが。

(答) 現在運行している国道路線バスは、他の市町の負担もあり今後も存続する考え。国道以外の路線は本町だけで負担しており、負担も多く上総進を除き乗り合いタクシーに移行する考えを持つている。

(質問) 西1線と南4号の交差点は前から事故も多く危険な箇所。電光掲示の「止まれ」の標識を設置してはどうか。

(答) 「止まれ」標識の取替えは考えていない。交通量が少ないとの理由から設置されていないが、2年ほど前から北海道警察に対し信号機の設置を要望している。

(質問) 交通指導員が15名。予算も少ない。報酬の見直しを考えてはどうか。

(答) 非常勤特別職で年間3万円。出役は1日千円でお願している。今のところ見直しは考えていない。

(質問) 行政区活動交付金は例年減額補正(提案型事業)されており、交付基準のハードルが高いのではないか。いろいろなきまを取り外し、交付してはどうか。

(答) 対象事業がないわけではない。事業費が上限の50万円に届かなく減額している。

(質問) 行政区運営事業の中に区長報酬とその他の行政区に渡る交付金があるが紛らわしいのでは。

(答) 区長報酬は条例に定められた金額を区長に支払うもの。行政区に渡る事務取扱交付金は行政区に対し支出し、文書配布や行政区の行事に使われているケースが多い。行政区に関する事務なので一つの事業の中で予算組みをしている。

## 【民生費】

(質問) 幼保一体化について考えを聞きたい。

(答) 厚生労働省は、2013年以降に一体化を考えているようで、その推移を見守りたい。平成23年度からの保育園の指定管理期間も期間を短く設定した。

### 【衛生費】

(質問) 診療送迎車運行支援事業に関して、花月クリニックに自宅から送迎している人も見受けられるが、内容を確認したい。

(答) 大和・吉野診療所廃止に伴いその地区の住民が花月クリニックと空知中央病院へ通院する場合に乗車できるので、病院に対し町が助成している。昨年の実績は143回。延べ150名の送迎を行っている。

### 【農林水産業費】

(質問) 農業委員の改選期に当たり委員の定数をどう考えるか

(答) 現在は公選13名で構成している。農業委員で構成する検討委員会でも検討した結果、改選後も13名とした。

(質問) 新規事業の農業振興活性化事業の内容について

(答) 総合振興公社に対し、

農業振興公社の設立準備、農産物のブランド化の推進、修学旅行生などの「ファームイン」の受け入れ業務を委託する。

(質問) 平成22年度のシカ捕獲頭数は22頭。防護柵など対策強化を検討しないのか。

(答) 昨年の農業被害は1千4百万円。エゾシカは繁殖率が高く、防衛策を高めるためには、電気フェンスの設置も考えられるが多額の費用がかかってしまう。くくり罠を始めたばかりで、まず自己防衛の中で進めていきたい。

### 【商工費】

(質問) 緊急雇用創出補助金280万円が見込まれているが、企業情報のデータ作成が雇用創出とどうつながるのか。

(答) 振興公社に委託するので公社側が臨時職員を雇用することになる。

(質問) 灯油高騰で商工業者が影響を受けるのが心配。一時的にでも資金が潤沢に回るよう町の資金と国や道の資金の内容を確認したい。

(答) 町の融資は設備資金や運転資金として限度額を設けており、数百万円単位の融資

だが、国や道の融資枠は数万円単位の融資。利子補給など町の融資にメリットがあっても、融資枠の関係で国・道の融資を利用している場合もある。

(質問) 観光事業の波及効果は。

(答) 入り込み数以外で分析したことはないが、今後は検討する。今年度ファームイン関係では、受け入れ者が千人を超え、受け入れ金額として600万円を超えた。

(質問) 買い物難民対策を進めることで商工会の活性化につながるのか。

(答) 現在、JAでは御用聞きや移動販売を行っている。また、商店でも一定の条件であれば配達することも聞いている。移動販売等では経費が掛かるなどの問題もあり、JA、商工会、行政で検討を重ねている。

### 【土木費】

(質問) 町道の舗装が薄く痛んでいるところを総合計画に載せ、順次整備してはどうか。

(答) 一層の簡易舗装道路は、錦野団地、みどり団地、旧南中央内に多く見られる。

予算的なことも踏まえ整備計画を立てたい。

### 【教育費】

(質問) 改善センターの耐震はどうなのか。

(答) 建設年度が建築基準の改定年度に近いことから耐震基準を満たしていない可能性もある。具体的な数値は出ていない。

(質問) 今年度から体育施設は指定管理者制度を導入しているが、総括としてどう感じているか。

(答) 利用者は増えており、きめ細かな対応をしていただいているとの利用者の意見もある。ただ、使用料については微減となっているが、想定内の範囲内。1年目としては好成績と感じている。

(質問) 給食費負担金の値上げはするのか。

(答) 今年度中に保護者も含めて検討した。社会情勢を考慮し値上げは見送った。

### 【職員費】

(質問) 本町の適正な職員数は何人か。

(答) 類似団体の人数を参考にすることはできるが、各自

治体の業務が違うので機械的に人数はでない。委託も含めてもう少し減らすことはできる。しかし、行財政改革の中で退職職員の1割補充を掲げて採用してきたが、今後は、状況を見ながら職員採用をする。

### 【歳入】

(質問) 土地の価値は下がっているのになぜ固定資産税は上がっているのか。

(答) 平成6年から自治体ごとにばらつきのある評価税率を全国一律に地価公示評価の7割に統一するよう負担軽減を講じつつ、段階的に引き上げを行っている。地価は下がっても、評価税率の調整を行っているので、現状として固定資産税が上がっている場合もある。

(質問) 本町の歳入科目で東日本大震災の影響を受けるものはあるのか。

(答) 譲与税の中の揮発油譲与税に影響があるかもしれない。また、地方交付税のうち特別交付税は災害があつた場合に被災地に手厚く配分される要素があるので、減額になる可能性は高い。

Q. 4年間の町政執行をどう評価するか！！  
約束した5つの項目はおおむね達成。



樋坂 里子 議員

町政4年間の評価は

質問 今期4年間の町政をどう評価するか。

町長 4年間の町政運営の評価は、本来町民のみなさんや議員の方々に評価していただくのが本筋であろうが、平成19年当時、町民の皆様にご約束した5つの項目について自分なりに報告させていただく。

1.「健康づくりと社会福祉の充実」  
生活習慣病の予防や疾病の早期発見に取り組み30代女性の乳がん検診や予防接種の助成、町民健康づくり事業など

を行った。また、社会福祉関連では、「子ども元気高齢者いきいき応援プログラム」に基づき各種取り組みの実践、乳幼児等医療費助成事業の拡大、「子ども夢基金（2億円）」を創設した。

2.「力強い農業と商工業の再生」

農産物ブランド化推進組織の立ち上げや町内全域において基盤整備事業を推進。農業者の高齢化と担い手不足を解消すべく農業振興公社の立ち上げに着手した。また、中小企業に対する融資制度の条件緩和や利子の全額補給、割り増し商品券の助成を行った。

3.「みんながいつでも学べる教育環境」

4 小学校を統合し新生新十津川小学校を開校、小、中学校校舎の耐震化と大規模改修の実施、町単独費による教科専任教師の配置、統合後の廃校校舎の活用を進めた。

4.「豊かな自然を守り生活環境の向上」

豊かな自然環境を次世代に引き継ぐため「環境基本条例」を制定。綿製品、廃食用油の回収・リサイクル活動、青葉公営住宅の建設や除雪排雪の

充実を図るべく除雪機械の更新を行った。

5.「行財政改革を進め、住民との協働」

4年間で、町債（借金）を28億4千万円減少させ、基金（貯金）は1億1千万円増やした。財政的には、空知管内でも健全な団体となっている。

町の最高規範、行動規範となる「まちづくり基本条例」を制定、住民との協働によるまちづくりの指針とする。

今後も行政全般にわたる批判は真摯に受け止め、住民とともに住みよいまち、豊かなまちづくりに専念する。

子ども手当をどう考えるか

質問 子ども手当についての町長の考えは。

町長 法案が成立しなければ4月から従前の「児童手当」が復活することになり、全国の自治体では大きな混乱が予想される。私は、子ども手当は継続すべきとの考えである。ただし、子ども手当支給にあたり、その一部を地方に

負担を求める考えには賛成できない。子育てを社会全体で支えるとの理念を貫く強い意志を国は示して欲しい。未来を担う子どもたちが安心して暮らし、健やかに成長できる社会の実現に貢献できる「子ども手当」であって欲しいと願う。



青田 良一 議員

英語教育の充実を

質問 4月から始まる小学校での英語教育を充実させるべく、小学校教員に「小学校英語指導者資格」を取得させるなど本町独自の取り組みを発想しては。

Q. 灯油価格を懸念する。  
現状での支援はしない。

**教育長** 来年度から新学習指導要領によりカリキュラムが組まれる。外国語教育も小学5年、6年生が年間35時間の授業が必修となる。小学校は当然担任の先生が主となり指導することになる。授業は、会話と聞き取りとなり、その教材は文部科学省より配布を受けた「英語ノート」を活用する。全ての教員には、30時間の英語指導のための事前研修を受講させており、加えて中学校の英語教諭が小学校を訪問するなど、小中学校の連携を重視した相互研修に取り組む。また、中学校に配置している英語指導助手をこれまでに以上小学校での勤務時間を増やすよう計画している。新学習指導要領への移行期間中に出来る限りの対応や研修に取り組んでおり、特に問題はないと考える。

議員からの提案も一つの有効な手段ではあるが、先生方は他の教科の教材研究もあり、限られた時間も勘案しつつ、道立教育研究所や空知教育センターでの研修機会を活用し、子どもの教育振興に留意したい。

燃料高騰対策は

**質問** ガソリンや灯油価格が急騰している中、住民生活に及ぼす影響も甚大であり、生活弱者への支援が必要では。

**町長** 原油価格の上昇によるガソリンや灯油価格の急騰は、生活弱者のみならず、運輸関係、中小企業、商店等々、国民生活全般に大きく影響するもので、今後も価格の推移は注視していく。

これまで町は、福祉的な対応として、「福祉灯油助成事業」を実施。高齢者、障害のある方、母子世帯に対し、100リットル分の灯油引換券を配布し、生活安定に支援した。この時の考えは、灯油価格が100円を超えた時点を目安とし、灯油需要期の1月から3月に限って実施した。3月8日現在、1リットル90円であり、春に向かって需要も減少することなどから、現状での支援は考えていない。なお、日本経済が衰退しないよう、今後の石油価格の安定に期待する。

『東日本大震災』被災者に対して

心からお見舞い申し上げます。

3月11日に東北・三陸沖で発生した大地震と津波は、未曾有の大惨事をもたらした。

新十津川町議会は、14日に議員会を開き、北海道新聞社を通じて義援金30万円を贈った。

『がんばれ被災地！がんばれ日本！』



# 常任委員会報告

## 総務民生常任委員会

(3月2日開催)

### 1. 調査事項

平成22年度の地域公共交通実証運行は、平成22年10月1日から11月30日までの46日間で「徳富・総進方面」「上総進・大和方面」「花月・弥生方面」に分かれ乗合タクシー（事前予約制）方式で行い、利用登録者102人、延べ利用者614人が利用した。

- 【アンケートの結果】
- ① 滝川市への連絡のために中央バスに乗り継いだ利用者は全体の約半数。
  - ② 全体的な満足度は、約半数の48%が満足しているが47%は不明との結果。
  - ③ 運行時刻の設定は、各方面とも30分程度運行時刻を早めてほしいとの意見。

## 経済文教常任委員会

(2月23日開催)

### 1. 調査事項

(1)都市公園の多目的利用について

中央市街地内に公園は12カ所あるが、公園機能が発揮されない冬期間において地域の雪捨て場として利用が可能か調査・検討した。

- ④ 運賃設定は、回答者の半数以上が妥当と判断している。
  - ⑤ 徳富区・総進区で利用した住民が「乗合タクシーが中央バスの代替交通手段になり得るか」との質問に対し、「ならない」が「なる」を上回り、理由として「乗り継ぎの不便さ」と「便数の少なさ」があげられていた。
- 【新年度実証運行の方向性】
- ① 中央バス代替交通としての乗合タクシー運行
  - ② 中央バス「総進線」沿線地域等を自宅前乗降として設定
  - ③ 滝川市への乗り入れを検討
  - ④ 上総進地域は、既存2路線を統合・路線変更により中央バス輸送区域として検討
  - ⑤ 花月・弥生方面、大和方面は中央バス及び福祉バスにて対応

- ① ミニロータリーや家庭用ロータリー、スノーダンプでの投雪は可能
  - ② タイヤシヨベル等による公園内への進入は、遊具の破損や地面が傷むことも考えられるため認めることは出来ない。
  - ③ 前述のルールを守らない住民が出てきた場合の対処方法に苦慮する（責任の所在の明確化）
  - ④ 公営住宅の場合も一般住民と同様で特別扱いすることはできない
- 以上の問題や意見を整理したうえで、方向性については地域の役員と相談し継続的に検討する。



全国表彰を受けた後木 議員

### 全国表彰受ける

平成23年2月9日、全国町村議会議長会総会で議員表彰が行われた。本町では15年以上議員として活動された後木幸里議員が表彰され、3月8日日本会議前に長名議長から表彰状と記念品が伝達された。



4年間お世話になりました

### 編集後記

今年には積雪も少なく雪解けが早いのかな？とも思われたが、予想に反し3月も寒い日が続き融雪は進みません。さて、3月11日東日本大震災が発生し数万人規模の死者・行方不明者が出て、大正14年の関東大震災に次ぐ甚大な地震災害が起きました。

この地震により、東京電力の福島原発にも影響を及ぼし、皮肉にも被爆国日本が再び放射能の恐怖にさらされる事態となり、今後この地震が我が国にどれ程大きな悪影響を与えるか計り知れないところです。しかし、日本人の冷静沈着な対応と自己犠牲を伴っても他人や社会を思いやる心が世界的にも評価され注目を浴びました。

私は、この日本人の根底にある勤勉・互恵の精神で、必ず今回も大震災を乗り越えられると信じます。（笹木）

#### 【議会広報特別委員会】

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 西永 勝治 |
| 副委員長 | 樋坂 里子 |
| 委員   | 青田 良一 |
|      | 山田 秀明 |
|      | 笹木 正文 |
|      | 岩木 雅徳 |